



## 東京の会通信

No.296

2021年5月1日号  
(隔月1日発行)

発行：骨髄バンクを支援する  
東京の会

〒101-0031 東京都千代田区  
東神田1-3-4 KTビル3階

TEL：03-3866-8171  
(FAX兼用)



<http://www.marrow.or.jp/tokyo/>  
e-mail:marrow\_tokyo@yahoo.co.jp

定価 100 円

# 新宿中央公園にて献血& 骨髄ドナー登録会

主催：東京新都心ライオンズクラブ

東日本大震災で被害を受けた東北の方々を応援する復興支援イベントが、震災翌年の2012年から継続して、新宿中央公園水の広場で開催されています。東京の会は毎年このイベントに参加して、骨髄バンクの普及啓発を担当してきました。イベントは東京新都心ライオンズクラブ・西新宿角三町会が主催し、例年は福島や宮城の特産品を販売したり、軽食や飲み物の提供、また消防署の協力で消火体験や救命講習、起震車体験などもありましたが、昨年に引き続き今年も、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大勢の人が集まるイベントは自粛することになりました。

しかし東京新都心ライオンズクラブの皆さんは、献血やドナー登録が減少している状況を憂慮し、せめて「献血&ドナー登録会」を開催したいと東京都赤十字血液センターに粘り強く交渉し、献血バスを配車してもらえることになりました。そして登録者を確実に集めるために、事前に申し込みを受ける事前登録予約の方法を初めて実施し、献血100名、ドナー登録50名の目標を立て声掛けをしたところ、130名を超える事前予約が集まりました。ライオンズクラブ・町内会の皆さんのご尽力により、大きな成果を上げることができた「献血&ドナー登録会」でした。

以下に、主催された「東京新都心ライオンズクラブ」会長、須田忠行様からのご寄稿と、参加者からの感想を紹介します。

### 「献血・骨髄ドナー登録」活動を終えて

東京新都心ライオンズクラブ 会長 須田忠行

前日の激しい雨とは打って変わり、強風ではありましたが暖かく晴れた2021年3月14日（日）に新宿中央公園水の広場で「献血・骨髄ドナー登録」活動を開催しました。

当クラブでは、毎年3月11日に近い日曜日に東日本大震災の復興支援を目的とした「防災フェア」と「献血・骨髄ドナー登録」活動を同時に行う計画でしたが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されている中で、多くの人の来場を目的とする「防災フェア」は中止となりました。

しかし、コロナ禍において献血や骨髄ドナー登録が不足している状況を知り、「献血・骨髄ドナー登録」活動は中止せず、単独で開始することとしました。そこで、ご協力いただく地元自治会・新宿区・新宿中央公園管理事務所・東京都赤十字血液センター・全国骨髄バンク推進連絡協議会の皆様とも1月～開催直前までに3度もの事前打合せをさせていただき、感染防止を徹底しながら開催に至りました。

今回の開催にあたり、一番の工夫は、当クラブのメンバー

が献血・骨髄ドナー登録に協力いただける方を募り、事前予約をしていただき、開催日前に当日の名簿とタイムスケジュールが確定できていたということです。特に地元の自治会の皆様には多大なご協力をいただき、献血者132名、骨髄ドナー登録者28名もの名簿を作ることができました。

当日は、強風により準備段階でテントが飛ばされるアクシデントもありましたが、事前予約の方・当日参加の方を含め135名の受付をさせていただき、献血者数94名・骨髄ドナー登録者数21名の実績となりました。

ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



ライオンズクラブの皆さんと骨髄バンクボランティア

## ハプニングにも負けず21名の登録

風は強いが良く晴れた日曜日、新宿中央公園でライオンズクラブ主催の献血会と骨髄バンクドナー登録会が開催されました。

まず朝一番でハプニング発生。開始前の時間帯に、準備万端で設営してあった大きなテントが、何と!機械もろとも突風で飛ばされ、横倒しになってしまいました。ケガ人などが出なかったのは不幸中の幸い。

時折の突風に備えてその場の判断でテント無しでの運営にしましたが、当初予定していた流れが大きく変更され、献血者受付準備に混乱が生じました。この日最初の献血者グループの受付にも影響を及ぼし、予約時間から遅れてしまいましたが、ライオンズクラブと事務局の方々の事前準備が良かったため、その後の献血とドナー登録は順調に進み、最終的に21名の登録に結びつきました。

登録者は事前予約で来ていただいたため、登録説明をしてもみなさん骨髄バンクや移植について良く把握されているように感じました。ご家族や友人同士で来られている方もいらっしゃったようです。親しい人たちの間で骨髄バンクについて話し合い、登録しようと決心していただけるのは大変ありがたい事です。ライオンズクラブのご紹介者は自営の方も多く、登録の際にドナー助成制度についての質問もありました。

新宿中央公園には親子連れや若者がたくさんおり、私も含め、時間が空いたメンバーはプラカードを持って公園内を歩き、その場にいる若い世代の人たち皆に登録してもらえたらどんなに良いか…と想像をめぐらしながら、献血・登録会の宣伝活動も同時に実施しました。

次回以降に向けて、運営面で要検討事項があるとすれば、最初の受付でドナー登録希望者の確認が難しく、せっかく予定していただいたにもかかわらず、先に献血が終わってしまったり、帰ってしまった方もいました。個人情報保護の問題もあり、受付で逃さない工夫が必要かと思えます。

最後に、3月中旬の風の強い日だったため花粉も大量飛散しており、私にとってはツライ一日でしたが、このような共創イベントへの参加は、今後も続けていきたいと思えます。

(石崎保夫)

## 予約制で効率よく人数把握

日赤のテント4張が強風で吹き飛ばアクシデントから始まった、新宿中央公園での献血・登録会に、説明員として参加しました。



テントが飛ばされたため青空登録会に

密を避けるための、慣れない予約制。登録予約があったのに説明の場を通り過ぎ、先に献血をすませてしまった人もいらして、あわてて登録予約の有無を確認してご案内

するようにするなど、ドタバタ感は否めませんでした。それでも受付時間中、献血者が途切れなく訪れる状況は、予約制ならではのことで、主催であるライオンズクラブさんのご尽力の賜と感謝しています。

コロナ禍での苦肉の策とはいえ、予約制は献血や説明の人数をあらかじめ把握できる、たいへん効率の良い方法です。コロナ以降の献血併行登録会にも取り入れられないか…その思いを強く抱いたイベントでした。(佐藤道子)

## 臨機応変、ボランティアの底力

新宿中央公園で行われた、東京新都心ライオンズクラブ様主催の「献血・骨髄ドナー登録会」は、献血の事前予約130名、骨髄バンクのドナー登録希望者28名に対応するため、献血バスが3台も来るという大々的な献血&登録会となりました。開始直前にテントが風で飛ばされて壊れてしまい、献血バスの配置も変わって、決めてあった動線がメチャメチャになりましたが、チームリーダーの梅田さんが指揮系統や日赤さんの窓口を全員に徹底して下さったおかげで、大きな混乱もなく臨機応変に乗り切ることができました。いつも、いろいろな場所で、いろいろな人達と活動しているボランティアの対応力と底力を見た気がしました。

献血希望者は10時から15時半過ぎまでほぼ途切れることなく訪れたので、献血の受付や献血バスの中はきつと大忙しだったと思います。ドナー登録希望者も、午前中は何名か同時に、午後は1~2名が常に説明員から説明を受けているような感じで、最終的に21名の方に登録いただきました。ほとんどが予約していらっしゃった方だったので、事前にドナー登録について調べたり、家族と話してから来られた方もいて、患者さんと型が一致したらきっとドナーになって下さるだろうと嬉しい気持ちで説明しました。

企画して下さった東京新都心ライオンズクラブ様、準備に関わった皆様、当日ご協力いただいた皆様全員に感謝申し上げます。お疲れ様でした。来年はコロナが収まって、いつも通りの楽しいイベントが開催できますように。また元気で会いましょう!(福永達子)

## 東京の会 「5月、6月定例会」 のお知らせ

5月22日(土)、6月19日(土)午後5時30分より

会場:こくみん共済coop東京会館

(旧:全労済東京会館)3階会議室

※JR新宿駅西口下車7分(新宿区西新宿7-20-8)

※地下鉄丸の内線西新宿駅下車1番出口徒歩2分

青梅街道新宿警察署向かい・「キャン☆ドゥ」角入り右側

※7月定例会予定・7月17日(土)午後5時30分より

定例会の開催については新型コロナウィルスの感染拡大状況を考慮し、オンライン開催も取り入れて臨機応変に対応して参ります。

# 2020年度のドナー登録推進活動の報告

2020年の年明け早々に、4月から始まる次年度の献血ルーム活動の計画を練っていた時には、コロナの感染がこんなにも大きく長く続くものとは想像もしていませんでした。

東京の会では献血ルームでの活動当初から、有楽町と新宿東口駅前の2つの献血ルームで長年登録会を行ってきました。そのため最近では既登録者が増えて来たので、2020年度は曜日を変えて実施しよう、参加出来る説明員が減って来ているので、昼休憩を交代で取る人数が確保出来ないから午後だけ（13:00～17:00）の活動にしよう、と考えて年間19回の登録会を計画しました。

ですが、4月スタート時には緊急事態宣言が出て、東京の会は6月末まで全ての活動を休止しました。7月から献血ルームでの活動は再開しましたが、コロナ感染拡大防止策として献血ルームでは献血が予約制になり、時間通りに献血してもらうために予約の人にはドナー登録の説明が出来ないルームもあって、厳しい活動が続きました。また、東京の会の説明員の中には元患者さんや高齢者もいるので、コロナ感染が心配で活動に参加したくても出来なくて辛い思いをしている説明員もいます。

2021年に入ってから再度緊急事態宣言が出たため1月と2月はまた活動休止しました。3月になって、当初の予定から緊急事態宣言は延長されましたが、休止

が続くのは忍びなく、感染予防対策を徹底しながら3月は有楽町と新宿東口駅前の両方で1回ずつ実施しました。結局19回予定していたうち8回休止して、2020年度は11回献血ルームで登録会を行い、全部で71名に登録していただきました。

ところで東京の会では献血ルームの他に西東京市でも、市役所での献血の際にドナー登録会を併行で実施しています。コロナ禍であっても西東京市役所健康課と東京都赤十字血液センター武蔵野出張所のご理解とご協力をいただいて、昨年度も8月と3月に田無庁舎で献血併行ドナー登録会を行い、合わせて8名の登録がありました。

昨年活動に参加した説明員は、コロナ感染の不安を感じながらも日々の健康管理に務め、参加に当たっては検温や消毒、マスクの着用はもちろんのこと、説明の際には透明シートを張った衝立て越しに、あるいは正面に座らないよう椅子をずらして距離を取って、マスクでも声が通るようにハッキリ話すよう気を遣いながら登録会を務めてくださいました。本当にお疲れ様でした。

昨年度東京の会では3名が研修を受けて新たに説明員に加わりました。まだまだコロナの影響を受けながらの活動が続くと思われますが、2021年も東京の会として出来る範囲内でドナー登録推進活動を続けていきたいと思っています。（松下倫子）

## 日本骨髄バンクの登録患者と検査済登録ドナー (令和3年3月末日現在)

|         | ドナー(全国) | ドナー(東京) | 患者(全国) |
|---------|---------|---------|--------|
| 登録者累計   | 530,953 | 67,073  | 61,438 |
| 2-3月登録分 | 4,988   | 744     | 411    |
| 2-3月抹消数 | 3,743   | 430     | —      |
| 実質登録増   | 1,245   | 314     | —      |

## 患者とドナー登録・適合状況(3月末日現在)

|                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| ドナー登録受付者数(累計)   | 855,073人             |
| ドナー登録抹消者数(累計)   | 324,120人             |
| HLA適合報告ドナー数(累計) | 339,020人             |
| 実質登録患者実数(現在)    | 1,776人(国内1,300人)     |
| HLA適合患者数(累計)    | 48,871人(患者累計数の79.5%) |
| 非血縁移植実施数        | 25,330例(2-3月実施210例)  |

## 7月会報発送 「おりおり」のお知らせ

【注意！】今年から会場と曜日が変更となりました！

東京の会事務所移転に伴い、おりおりは  
全国協議会事務所での開催となります。

また、曜日も日曜日に変更となりますのでご注意ください。

※今お読みになっている「東京の会通信」を約500部折って封入し発送します。どなたでもご参加いただけますが、必ずマスク着用の上、患者さんや元患者さん、持病のある方やご年配者など、感染リスクの高い方はご無理のないようお願い致します。なお、状況により発送作業を中止する場合は、メーリングリストやホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

※9月「おりおり」予定・9月5日(日)14時00分より

日時：7月4日(日)14時00分より

※発送作業は会報が発行される奇数月のみとなります。

場所：全国協議会事務所（千代田区東神田1-3-4 KTビル3階）

|                  |      |
|------------------|------|
| 交通：都営新宿線「馬喰横山」駅  | 徒歩5分 |
| 都営浅草線「東日本橋」駅     | 徒歩7分 |
| 東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅 | 徒歩7分 |
| JR総武快速線「馬喰町」駅    | 徒歩5分 |

# 編集者 雑記

▼日本の順位は156カ国中120位でした。何の順位でしょうか？ 世界経済フォーラム（WEF）が毎年各国の男女（ジェンダー）平等の状況を分析して「世界ジェンダー・ギャップ報告書」としてまとめて公表している2021年版のランキングです。

▼世界経済フォーラムはスイスジュネーブ州コロニーに本部を置く非営利財団で1971年に設立されました。経済、政治、学究、その他の社会におけるリーダーたちが連携して世界情勢の改善に取り組んでいます。会長は設立者で経済学者のクラウス・シュワブ氏です。

▼アイスランド、フィンランド、ノルウェー、ニュージーランド、スウェーデンの順に男女平等の水準が高く評価され、1位から5位までの座を占めています。日本は昨年より一つ順位を上げたものの過去ワースト2の結果となり、主要7カ国の中で大きな差を以て最下位となりました（ドイツ11位、フランス16位、英国23位、カナダ24位、米国30位、イタリア63位）。近隣アジアのフィリピン17位、韓国102位、中国は107位で、いずれも我が国より上位に位置しています。最下位はアフガニスタンの156位です。

▼まず次の四分野（①政治、②経済、③教育、④健康）について男女平等度合いを分析評価して指数化され、全体を総合評価する方式で行われます。政治分野では政治的エンパワメント、経済分野では経済的参加度と機会、教育分野では教育達成度、健康分野では出生・医療等の支援制度等が主な評価対象ですが、特に大きなウエイトがあるのは政治分野の現状です。ジェンダー平等は民主主義の根幹にかかわるからです。

▼日本の評価が何故総合的に低いのか、今回の評価内容を見てみましょう。

- ①政治 6.1点 147位（144位）
- ②経済 60.4点 117位（115位）
- ③教育 98.3点 92位（91位）
- ④健康 97.3点 65位（40位）

⑤総合 65.6点 120位（121位）

▼政治分野の評価が低いのは女性の議員・閣僚がほとんど増えていないことと女性の首相が誕生していないためです。経済分野では労働参加率が上がったのはプラス要素ですが、賃金格差と管理職比率が低いことがマイナス要素となりました。教育分野では識字率や初等教育の充実の成果は評価されるが女性の大学進学率が先進国の中で低位であることが問題点。健康分野では出生時の男女差がなく評価できるが、健康寿命が低下したことがマイナス点となりました。（2021/4/1朝日朝刊を参考。）

▼内助の功、最近はやらない言葉ですが、妻が家庭にあつてしっかりと守り、夫が社会で活躍するのを支えて成功させたときの誉め言葉として使われていました。外で働くのは夫で妻は専業主婦であることが前提です。

▼ジェンダーの平等を考えると避けて通れない問題があります。子供を産む能力は女性にしか与えられていません。母子とも安全にお産を済ませるのに必要な期間、女性に休暇を保障できているか、人の身体成長・人格形成にきわめて重要な0～5歳の乳幼児期の育成に母親としてどのように関わっていくかという問題です。母親である女性は育児中、専業主婦でなければならないのかという問題です。

▼社会で発生するいろいろな問題の解決には、解決を担当する組織の意思決定が必要です。意思決定のためには問題を正確に把握し、どうすれば解決できるのかを分析して手順を決めなければなりません。男性、女性格差のない適切な比率で構成する組織（議会、委員会など）を編成し、それぞれのジェンダーでなければ発想できないことを自由闊達に提案し合うことが必要なのです。男女格差の解消は両性からなる人類にとってぜひ実現しなければならない問題だと思います。自治体などで取り組みを開始したところがあるようです。手を携えて進めていこうではありませんか。（K）

## 今後の予定

（参加方法は近くなったらメーリングリスト等でお知らせ致します）

- ①全国協議会ボランティアの集い  
5月29日（土）14:00～Zoomで開催
- ②東京の会総会 6月26日（土）午後Zoomで開催

## 心のこもったご寄付ありがとうございました。(2021.2.16～4.15)

株式会社マルゼン様 3,693円／匿名希望 5,000円

お寄せいただいたご寄付のうち、会費未納の会員からは会費（年3,000円）を差し引いて掲載させていただきました。

## ボランティアの運動にも資金が必要です。東京の会に活動資金のカンパを！

郵便振替口座番号 00100-1-555195

他銀行から振込みの場合 ゆうちょ銀行(9900)／〇一八支店(018) 普通口座No.4180512

加入者名義 骨髄バンクを支援する東京の会